ふれあいネットワーク

あいちのふくし

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会
名古屋市中区丸の内二丁目4番7号
☎(052)232-1181
編集発行人　西尾昭雄
http://www.aichi-fukushi.or.jp/

2013.08
no.472

特集

あ・い・ち・ふ・く・し
～新たな“ア・イ・チ”への一歩～
みらい～中期計画より～
新しい福祉文化を創るために

■ 各地の社協を訪ねて …… 04
■ 民生委員 児童委員活動紹介 …… 05
■ 施設紹介 …… 06
■ 福祉人材センターだより …… 07
■ 福祉生きがいセンターだより …… 08・09
■ ご寄付に感謝 …… 08
■ 福祉サービス利用支援センターだより …… 10
■ 第27回ふれあいフォトコンクール作品募集！ … 10
■ 愛知県共同募金会だより …… 11
■ 「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」販売の申込受付 … 12
福祉の保険Q&A

ひもの

渡辺哲雄

ポケットで携帯電話が震えた。故郷で一人暮らしをしている母からだった。時間を見つけてかけ直すと、母は自分が電話をかけたことを覚えていなかった。八十歳を過ぎた辺りから直近の記憶がめっきり衰えている。

旅先から干物のセットを送ったが、十日ほど経ったのに着いたとも言って来ない。

「もしもし、干物、着いた？」
「うまかったぞ。ちょうど今朝食べ終えた」
「着いたら着いたと電話ぐらいしろよなあ」
「あれ？私、電話しなんだか？」

ここで不安にさせてはいけないと思い、「いや、電話もらったことを、こっちが忘れてるのかも知れない」

最近おれも忘れっぽいからと笑って電話を切った二日後、今度は母から電話が入った。

「お前が干物を送ったと言ってくれたから楽しみに待っているぞ」

私は慌てて干物を買いにデパートへ走った。

パーソンセンタードケアと言うらしい。

日本福祉大学中央福祉専門学校専任教員
（あいちシルバーカレッジ講師）

第26回　ふれあいフォトコンクール　最優秀作品
愛知県知事賞　「兄妹」　安藤年孝さん撮影

特集

あ・い・ち・ふ・く・し～新たな〝ア・イ・チ〟への一歩～

「第3次中期計画」の趣旨

愛知県社会福祉協議会（以下：県社協）は、平成16年度に『第1次中期計画』、平成21年度に『第2次中期計画』を策定し、「県の中核的組織としての役割・機能」を果たすため、諸状況の変化を考慮に入れ、積極果敢に、事業推進を図ってきました。

この間、超少子高齢社会を迎えて、社会・経済情勢の変化等の諸課題に対する適切な対応とともに、東日本大震災による未曾有の被害を契機に、地域社会における家族や住民同士の「絆」を深め、「新たな福祉社会の創造」を目指した活動が、求められてきています。

こうした状況の中、平成23年度末に推進期間を終了した『第2次中期計画』の成果と課題を総括し、今後5年先を見据え、「成果を踏まえる」「先を見据える」「次代へ挑戦する」という〝3つのキーワード〟を軸に、「県社協に何が必要か」という観点に立って、新たな計画（『第3次中期計画』）を策定することといたしました。

なお、『第3次中期計画』は、県社協が今後5年間で、特に重点的に取り組むべき事業を横断的に捉えた総合計画であり、各個別計画等の整合性を図る必要があるため、各委員会・部会、各種会議等において、確認（意見集約）したものであります。

「第3次中期計画」全体像

今年度の県社協機関紙「あいちのふくし」（以下：“あいちのふくし”）では、『みらい～中期計画より～』を年間の特集テーマ（全4回）とします。中期計画の中から重点事業をピックアップし、5年先を見据えて県社協の事業を紹介していきます。

特集内容予告

473号（11月発行）民生委員・児童委員活動の推進・支援　担当：民生児童部
474号（1月発行）市町村社協への支援・連携強化　担当：地域福祉部
475号（3月発行）総合的な権利擁護体制の構築　担当：福祉サービス利用支援センター

あ・い・ち・ふ・く・し 新たな“ア・イ・チ”への一歩

特集テーマ

新しい福祉文化を創るために

みらい～中期計画より～

【第1回：全4回シリーズ】

明るい福祉

●現場から

平成21年度から「福祉現場で働く若者へエールを送る」という趣旨の元、〝福祉の星フォーラム〟を開催しています。若手職員の育成やネットワークづくりの「場」を提供するとともに、一般県民も参加することで、福祉・介護の仕事のイメージアップ、福祉人材の確保、夢とやりがいのある職場づくりに繋がることを目指します。

また、現在は、NHK名古屋放送局、NHK厚生文化事業団中部支局、中日新聞社、中日新聞社会事業団と共催していますが、今後は、さらに共催団体を拡大し、マスコミとの連携をより強化して、福祉のイメージアップに繋げていきます。

●より身近に

人と人とのふれあいの輪がより一層広がり、お年寄りや子ども等、全ての人々が明るく・楽しい生活を送れることを願って、ふれあいフォトコンクールを開催しています（10頁に募集記事掲載）。

今後は、ホームページ等に活用できるような〝ふれあいフォトショット〟（スナップ写真）の募集を考えています。

愛知からの発信

一般県民に向けて、社協の活動内容等を記した新聞広告や〝あいちのふくし〟及びホームページ等により、企業、福祉関係機関・団体に福祉活動の協働を呼びかけ、福祉のイメージアップに繋がるよう、あらゆる広報媒体を通じて、現場や様々な福祉活動等の紹介を積極的に推進します。

また、福祉関係機関や社会福祉施設が、「新しい地域づくりの核」となるような仕組みづくりを検討していきます。

みんなで挑戦!! ミニ福祉検定

今年度の〝あいちのふくし〟より、ミニ福祉検定を掲載します。愛知県の福祉の内容を問題にします。検定を通して、皆さんに福祉をより身近に感じていただき、福祉のイメージアップに繋げていきたいと考えています。

Q 愛知県の高齢化率は何%でしょう?

（平成22年国勢調査より）

1 27.7%
2 18.5%
3 20.3%

※高齢化率とは…65歳以上の高齢者人口が総人口に占める割合。

こたえは…
8ページをご覧ください。

福祉現場の明日がもっと楽しくなる!

平成25年度 福祉の星フォーラム

参加費 無料

開催日 平成25年9月26日(木)
会　場 ナディアパーク デザインホール
対　象
・福祉現場等で働く若者
・福祉の仕事に就こうと思っている方
・社会福祉に関心のある方

昨年度の様子

【プログラム】

講演
講師
矢野きよ実氏

フレンドリー・ディスカッション
シンポジスト……施設現場で働く職員
アドバイザー……矢野きよ実氏
コーディネーター…渡辺哲雄氏

ネットワークタイム
出演者
クラウンファミリー
プレジャーB

お問い合わせ先 愛知県社会福祉協議会 総務部　電話(052)232−1181

『誰もが自分らしく生きられるまち・はんだ』を目指して

協力　半田市社会福祉協議会

半田市の人口は約12万人でその中に、身体等の障がい者手帳の交付を受けている方が約5千人います。障害のある方の生活を支援するサービスは昼間を支えるサービス17個所、居宅を支えるサービス13個所と比較的充実したまちです。市社協では相談機能として平成18年に地域包括支援センターが、平成20年に障がい者相談支援センターが市から委託され、総合相談支援体制を目指して実践しています。

▲子どもたちも参加のぴあサロン半田

そんな中にあって、病院や施設からの地域移行を支援するサービスができ、地域に移行するためには、地域での暮らしに不安を抱える障害のある方の「地域で暮らしたい」という気持ちを支援することや、地域での暮らしを始めた方に気軽に集える場所や話を聞いてくれる仲間の存在が必要ではないかということで、県社協のまちづくり助成事業を活用するなど「当事者活動と社会参加のすすめ」に取り組んでいます。

これは、市障がい者自立支援協議会が中心になって、当事者が運営するサロン「ぴあサロン」を月1回開催し、気軽に集える場所を作り、また、ピアカウンセリング講座を実施し、障がいのある方同士だからこそ支えられる支援「ピアサポーター」を育成し、実際に話し相手の支援を始めました。

ぴあサロン半田には、障がいのある方のみでなく、家族も加わり、現在約30名の参加があります。そこで友達が出来たり、ぴあサロンをきっかけに長年自宅に閉じこもりがちだった方が社会に出られるようになったりと地域に出る一歩になっています。ピアサポート活動では、支援を受けてきた方が自分も誰かの役に立ちたいとピアカウンセリング講座を受講するようになったり、各人が本来持っている力が仲間の力を借りて発揮されるようになっています。

▲演習を通じて学ぶピアカウンセリング講座の様子

市は、平成20年に地域福祉計画を作成し、「誰もが自分らしく生きられるまち・はんだ」の実現を目指しており、これを受けて社協は、住民が周囲の人々と支え合い、地域の課題を他人事とせず共に解決に向けて協力することで実現できると考え、その実践を住民と協力して追求し、地域福祉を推進することが社協の使命であると社協強化発展計画に載せました。

住民の中には、障がいのある方も含まれ、支えられるだけでなく、地域の課題に主体的に取り組む実践が進みつつあります。また、その実践を地域住民に伝える場として、ふくし実践教室に参加したり、シンポジウムを実施して仲間を増やす活動を続けています。

民生委員児童委員活動紹介

「地域住民に一番身近な立場で支援」

東海北陸ブロック県・指定都市民生委員児童委員関係事業会議報告

さる6月27日（木）～28日（金）の2日間、東海北陸ブロック6県1市の民生委員・児童委員の代表者119名の参加のもと、各県・指定都市、市区町村段階での実践事例、民生委員・児童委員活動をめぐる課題や今後の活動方策について協議する「平成25年度東海北陸ブロック県・指定都市民生委員児童委員関係事業会議」が、全国民生委員児童委員連合会（以下「全民児連」）天野隆玄会長に臨席いただき、名古屋市中村区「名鉄ニューグランドホテル」を会場に開催されました。

▲全民児連　天野隆玄会長の挨拶

第1日目に行われた全国社会福祉協議会（以下「全社協」）池上実民生部長からの基調報告では、複雑・多様化した福祉課題に対して民生委員・児童委員としての関わり方のポイント、社会福祉協議会や地域包括支援センター等の社会資源との連携、災害時の要援護者支援や民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりの促進について、全国の活動事例を交えて分かりやすく解説していただきました。

つづいて行われた分科会では、全民児連の天野隆玄会長にもご助言をいただき、「多くの福祉課題を抱える生活困難家庭への支援」、「児童虐待や犯罪被害などから子どもを守る取り組み」、「民生委員・児童委員が活動しやすい環境づくりに向けた取り組み」をテーマに、各参加者からの実践報告や活動上直面する課題、個人情報の取扱い、民生委員・児童委員と専門職のチームプレイの進め方などについて、熱のこもった意見交換が行われました。

第2日目の分科会報告・まとめでは、全社協の池上民生部長から「防災対策に民生委員として関わっていくことで、民生委員・児童委員活動への住民の理解、情報共有の促進に有効」、全民児連の天野会長からは民生委員が置かれた3つの立場として、「①民生委員・児童委員の立場、②民生委員児童委員協議会の一員としての立場、③地域福祉の推進者としての立場」を挙げられ、「自覚を持って行動していくことの大切さ、「地域の福祉の核」になる必要性を説かれました。

続いて、弁護士で朝日大学大学院法学研究科教授の大塚錦子先生から「知っておきたい少子高齢社会における法律問題」をテーマに、オペラで綴る法律のお話をしていただきました。地域の高齢者に関わることが多い民生委員・児童委員として必要な成年後見制度や遺言・財産管理の方法のお話は、今後の活動の参考となるものでした。

▲分科会討議の様子

2日間の会議の場で、県域を越えた情報交換・交流が進み、地元へ持ち帰っての活動の広がり、民生委員児童委員協議会の交流研修の活性化が期待される会議となり、来年度に開催される石川県での再会を誓い合いました。

施設紹介

社会福祉法人　清修会　児童養護施設　宇宙（そら）

無限の可能性を持つ、「宇宙」の子ども達

施設長　川井純一

児童養護施設「宇宙（そら）」は、日本画家川合玉堂の生誕地、一宮市木曽川町に、平成25年2月1日に開所しました。愛知県下では、現在、最も新しい児童養護施設で、環境に優しい施設をめざし、電解水による洗濯機や体によい水素水等があり、とても清潔できれいです。無限の可能性のある子ども達を健全に育てていきたいという想いから「宇宙」はつくられました。

基本目標は3つあり、①子どもの最善の利益を優先した、安心・安全な施設づくり、②職員の養育能力向上をめざした、信頼される施設づくり、③関係諸機関や地域との連携を密にした、開かれた施設づくりです。また、職員と子どもは、鏡の関係にあると捉え、めざす子ども像は、めざす職員像と同じにしました。それは、素直な子・職員、たくましい子・職員、心の広い子・職員の3つです。

入所定員は、48名で、子育て短期事業2名を含むと50名になります。私達は、未来ある子ども達が、心身ともに健全な生活ができる環境の中で、社会へ自由に羽ばたいてもらいたいと願っています。「宇宙」は三階建てで、コの字形の建物です。一階は幼児ユニットで男女混合の相部屋となり、二階は学童男子ユニット、三階は学童女子ユニットで、ほぼ全室個室になっています。一部に兄弟、姉妹を考慮しての二人部屋を設けています。また、各部屋の壁紙の柄が異なり、ベッドと机は同じ大きさで上下に一体化しており、防災グッズを備え、収納箇所をできるだけ多くしています。これらには、個性を大切にし、個性を伸ばしていきたいという私達の願いが込められています。個々の空間を尊重しつつ、各ユニットにあるリビング、ダイニングは、仲良く集団生活を送れるようにも配慮しています。

一階には基本的な食事を作る調理室がありますが、各ユニットにあるキッチンでも、児童達の自立に向けての調理が可能です。その他に学習室があり、平日二時間程度、児童達が学習に励んでいます。二階には児童の体調管理に配慮した心理療法室や医務室、静養室があり、他に親子生活訓練室もあります。また、三階には交流スペースがあり、地域交流や各種行事、諸会議、大型プロジェクターによる映画鑑賞等もできます。

私達は、入所してきた子ども達が、退所するまでに、少しでも成長できるように、子ども達の無限の可能性を信じて、職員「宇宙」チームで前向きに取り組んでいきたいと考えています。

福祉人材センターだより

ご報告

愛知県保育士・保育所支援センターを開所しました！

▲開所式の様子

平成25年6月3日（月）、福祉人材センター内に「愛知県保育士・保育所支援センター」を開所しました。この支援センターは、国の待機児童対策の一環として愛知県からの委託を受け、開始となった事業です。

10時からの開所式では、牛嶋県少子化対策監と県社協の西尾専務理事が、当センターの入口に看板を設置しました。

保育士資格を持っていても就労していない潜在保育士や、再就職を希望している保育士経験のある方に保育園への就労のための支援を行います。また、保育士の質の向上や安定して働ける人材を確保する役割を担っており、次のようなことも行っております。

- ●保育の仕事の相談・登録・職業紹介
- ●保育士養成校や保育所と連携し、求職者の開拓および推進
- ●保育所の求人登録および求人情報の閲覧・提供
- ●保育士向けの研修会の開催

開所1カ月で、100件以上の求人登録や求職に関する相談がありました。保育士不足や待機児童問題の解消につながるよう、就労希望者はもちろん、悩んだり迷っている方も、ぜひ支援センターへおたずねください。

▲登録から就職までの手順も明記されているチラシ

ご案内

保育士修学資金貸付制度がスタートしました

愛知県では、保育士の養成確保のために、保育士養成施設に在学し、保育士資格の取得を目指す学生に対し修学資金を貸し付けることとし、この事業の実施を愛知県社会福祉協議会（福祉人材センター）が行うことになりました。不明な点は、お気軽にお問い合わせください。

制度の概要は次のとおりです。

- ■対象者　平成25年度に愛知県内の指定保育士養成施設（37校）に入学した者
- ■貸付期間　当面1年間
- ■貸付額　学費：月額5万円以内
  入学準備金：20万円以内
  就職準備金：20万円以内
- ■利子　無利子
- ■返還の免除　養成施設を卒業した日から1年以内に保育士登録を行い、県内の保育所等において5年間引き続き従事した場合は、返還免除となります。

お問い合わせ [TEL]052-223-0408 [HPアドレス]http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/index.html

福祉人材センターからのご案内

福祉人材センターの開催する研修は、こちらのアドレスから!!

アドレス　お気に入りにご登録ください！！

http://www.aichi-fukushi.or.jp/intoro/jinzai/kensyu_keikaku.html

福祉人材センターでは、平成25年度も施設・事業所に勤務する職員の方、行政職員の方に向けて、「社会福祉従事者研修」、認知症介護に携わる職員の方に向けて「認知症介護実践研修」を開催してまいります。

研修申込は昨年度と同様、愛知県社協ホームページの「研修計画」ページにて受付しています。多くの方のご参加を心よりお待ちしています。

福祉生きがいセンターだより

「はつらつ健康プラザ」開催のご案内

秋の深まる10月5日（土）の午前10時から午後3時半まで、あいち健康の森公園（大府市・東浦町）大芝生広場において、生き生き長寿フェア2013「はつらつ健康プラザ」を開催します。《入場自由》

このイベントは県民の皆様にスポーツ、レクリエーションを通して、健康づくりや世代間交流を推進することを目的としており、どなたでも参加できる屋外イベントです。

昨年度は、5千人を超える参加者に来場いただきました。

■愛知県レクリエーション協会によるいきいき体操

オープニングセレモニーとして、共和保育園児によるかわいらしい鼓笛隊の演技に始まり、開会式に引き続いて、愛知県レクリエーション協会によるいきいき体操を行います。また和太鼓演奏やバルーンアートなど、皆様に楽しんでいただけるステージアトラクションも行います。

さらに健康文化出展ブースでは、公募により幅広い企業・団体に出展いただき、にぎやかなコーナーとなります。

■共和保育園児による鼓笛隊の演技でスタート♪

マラソン・ウォークラリー参加者募集

このイベントの中で行われる、「マラソン交流大会」「ウォークラリー大会」の参加者を5月31日（金）～8月23日（金）まで募集しております。《参加無料》

家族みんなでの応募や友人同士での応募など、ふるってご応募ください。

募集については、愛知県内の各市区町村・各県民生活プラザ・各社会福祉協議会などに配布の参加募集チラシからご応募いただけます。先着順ですので、お早めにご応募ください。

なお、「マラソン交流大会」「ふれあいウォークラリー大会」の高齢者の部の上位入賞者は、平成26年度に開催される「ねんりんピック栃木2014」へ派遣する予定です。

秋の1日を、気持ちよく過ごしましょう！

お問い合わせ [TEL]052-222-0700 [HPアドレス]http://www8.ocn.ne.jp/~ai-choju/ikiiki.html

ご寄付に感謝

本会が設置している福祉基金にたくさんのご寄付をいただき、ありがとうございました。みなさまからの善意を「あたたかい福祉社会」づくりに活かしていけるよう事業に取り組んで参ります。今後ともご理解とご協力をよろしくお願いします。

ご寄付いただいた方々（平成25年2月～平成25年5月）

松浦勝秀 様……（小牧市）
そごう西武労働組合 岡崎支部 様……（岡崎市）
荒川磯慈善会 様……（名古屋市）
故 コバヤシカズコ 様
愛知県遊技業協同組合 様……（名古屋市）

〔5件　ご寄附順〕

ミニ福祉検定 解答

A 3 20.3%

都道府県で、愛知県は3番目に高齢化率が低い県となっています。全国の高齢化率は23.0%で、世界で最も高い水準となっています。

愛知県内で、高齢化率が一番高い市町村は東栄町で47.8%、一番低い市町村は長久手市で13.2%です。東栄町は全国で高齢化率が高い市町村第15位であり、長久手市は全国で高齢化率が低い市町村第4位です。（平成22年国勢調査参照）

問題は…3ページにあります。

あふれる笑顔
～県障害者スポーツ大会を開催しました～

平成25年4月27日（土）、星ヶ丘ボウルにて開催したボウリング競技を皮切りに、5月11日（土）の安城市スポーツセンター・安城市体育館での水泳競技・卓球競技、5月18日（土）～19日（日）の豊田市運動公園陸上競技場での陸上競技・フライングディスク競技、5月26日（日）の岡崎市福祉の村体育館でのサウンドテーブルテニスの各大会を開催しました。

県内各地から総勢約1,300人の選手のエントリーがあり、選手の一生懸命な姿とたくさんの声援、そして大会を支えていただいた多数のボランティアの参加で各会場はにぎわいました。

■水泳大会

■ボウリング大会

■陸上競技

■卓球大会

■視覚障害者卓球（サウンドテーブルテニス）大会

■フライングディスク（ディスタンス）

今年は新しい試みとして、「スポーツをする、応援する絵」の作品を募集し、優秀作品を豊田会場で展示しました。

また、豊田会場では選手、家族と役員や地域の方たちとの交流の場として「ふれあい広場」も開催しました。

「ふれあい広場」のスポレク体験や手作りおもちゃ、模擬店など、企画はどれも好評で、選手やご家族、一般の来場者の方など、多くの方がともに楽しむ、まさに「ふれあい広場」となりました。

■ふれあい広場でフライングディスクを手作り

福祉サービス利用支援センターだより

日常生活自立支援事業の状況

本事業は、認知症や知的・精神障害のため判断能力が不十分な方に対して、福祉サービスを利用する際の手続きの手助けや、通帳等を紛失しないように預かったり、お金を使いすぎて生活に困らないよう金銭管理等を行い、生活の安定を図る事業です。成年後見制度に似た事業ですが、成年後見制度の対象者ほど本人の判断能力が低下していない方を対象として、契約により支援を行います。

現在、900名以上（名古屋市を除く）が利用されていますが、最近の状況から利用者の傾向が浮かび上がってきました。

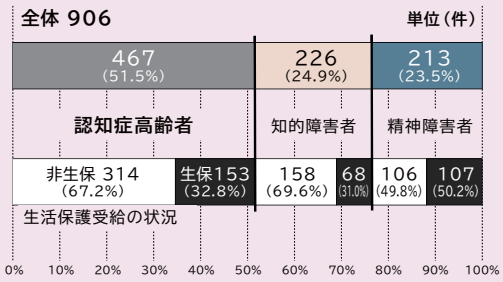
利用件数の推移

年度	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24
利用件数	**21**	**71**	**145**	**205**	**302**	**369**	**444**	**499**	**599**	**715**	**806**	**850**	**906**
新規契約	23	58	103	117	164	156	144	166	199	251	246	194	201
契約終了	2	8	29	57	67	89	69	111	99	135	155	150	145

事業開始から利用者は年々増加していますが、ここ数年の増加率は低下しています。これは制度開始から10年以上を経て、死亡等で契約を終了するケースが増加してきたことと、専門員が各基幹的社協に1名しか配置できず、新規ケースへの対応が難しくなってるいるためと思われます。

利用者の状況

利用者の種別等（平成24年度末の利用状況）

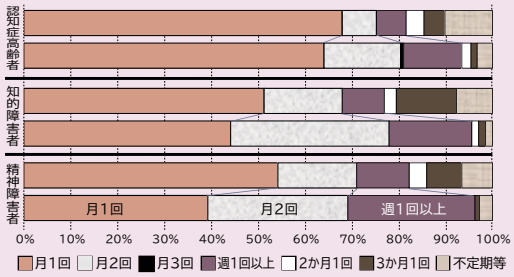


事業開始当初は認知症高齢者が大半を占めていましたが、次第に障害者の割合が増えて、認知症高齢者と障害者の利用がほぼ同じ割合になっています。また、知的障害者と精神障害者の利用もほぼ同じ割合となっています。

生活保護の受給状況でみると、認知症高齢者、知的障害者は約3割ですが、精神障害者の場合、約半数が生活保護を受給しています。

支援回数の状況

上段は非生活保護世帯／下段は生活保護世帯



本事業では、利用者に生活費を定期的にお届けするなどして金銭管理をしています。その割合は毎月1回程度の安定した方がいる一方、毎週小分けにしてお届けしてもお金を使い切ってしまう方もおり、状況はその人により異なります。全体的には、認知症高齢者より知的・精神障害者の方が、また生活保護世帯の方が支援回数が多い傾向がみられ、特に精神障害者で生活保護世帯の場合、支援回数が多くなっています。

第27回 ふれあいフォトコンクール作品募集!

毎年県内外から多くの方々に応募を頂いている「ふれあいフォトコンクール」を今年も実施します。

優秀作品には賞金・表彰状が贈られます。また、本誌「あいちのふくし」の表紙などに使わせて頂きます。みなさまのご応募お待ちしています。

募集テーマ

「ふれあい・思いやり」

【応募資格】福祉に興味、関心のある人
【応募締切】平成25年10月20日（日）消印有効
【応募規程】・サイズは四つ切のみ・未発表の作品
・作品の裏面に応募用紙を貼付のこと
・組写真は不可

【賞】最優秀賞（5万円）、優秀賞（2万円）、審査員特別賞（1万円）、愛知県知事賞、県社協会長賞、NHK厚生文化事業団理事長賞、中日新聞社会事業団理事長賞、セーフティマイタウン賞 他

応募用紙並びに詳細は愛知県社会福祉協議会総務部にお問い合わせいただくか、本会ホームページをご覧ください。

電話番号 (052)232-1181 ホームページアドレス http://www.aichi-fukushi.or.jp/

第26回ふれあいフォトコンクール優秀作品
県社協会長賞「風船いっぱいよ」（高岡有貴江さん撮影）

愛知県共同募金会だより

みなさまのご協力が地域の福祉を支えます

平成24年度共同募金実績額 930,029,211円

一般募金 744,104,021円　歳末募金 185,925,190円

昨年度の共同募金運動につきましては、県民の皆様方のあたたかいご理解のもと、多額のご協力をいただき誠にありがとうございました。

お寄せいただいた寄付金に、平成21年度災害等準備金取崩25,880,000円と配分予備金等50,403,448円を加え、総額1,006,312,659円を次のように配分いたしました。

大規模災害に対応するために

災害が起きたときのボランティア活動や福祉施設の復旧など

27,000,000円

障害のある方のために

体の不自由な人たちの生活訓練や作業用の備品の整備や自立にむけた支援など

104,124,888円

共同募金運動をすすめるために

共同募金運動のお知らせなどの情報提供や募金活動資材の購入など

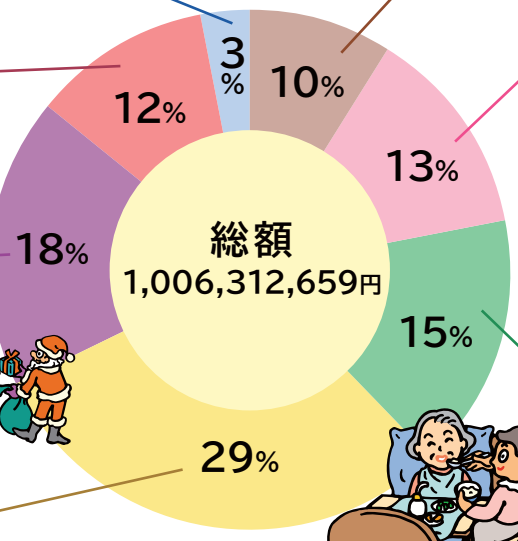
116,301,000円

©中央共同募金会

子どもたちのために

体験学習などの福祉教育や一人親家庭への生活相談・情報交換会の開催、遊具の整備など

129,509,155円



歳末たすけあいに

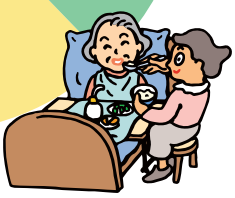
年末年始に行われるクリスマス会などの行事や支援を必要とする人たちへの在宅サービス、会食会など

178,715,517円

おとしよりのために

一人暮らし高齢者の交流事業や栄養バランスのとれた食事の提供・介護予防のための生きがい活動の支援など

155,152,886円



みなさんがお住まいのまちの福祉のために

地域で進められるボランティアの育成・研修や様々な福祉活動・相談活動をすすめるためや地域で活動する団体の支援など

295,509,213円

共同募金の使いみちが調べられます。

http://www.aichi-akaihane.or.jp/

“赤い羽根助成金ありがとう”メッセージ

社会福祉法人岩崎学園
障害児入所支援施設
「岩崎学園」（豊橋市）

配分額 97万円

助成事業 全自動洗濯機購入

24年度より新園舎となり、子どもたちはユニットで生活するようになりました。最終目標は就職・自立です。

そのためには多くのことを学ばなければいけません。洗濯もその一つです。重要なのは日々の積み重ねであり、時間をかけ習慣化することで確実なものにかわります。

今回購入させていただきました洗濯機は、朝・夕に子どもたちが自分たちで計画的に使用しています。また、機械が好きな子どもも多く、新しい洗濯機がきたことで、違う意味でも大喜びです。

本当にありがとうございました。

ふれあいネットワーク
あいちのふくし 2013.08 no.472

Q&A 福祉の保険

Q ボランティア活動中にケガをしてしまいました。その場合は、どのように手続きをしたらいいですか?

A 事故が起こった日から30日以内に、加入手続きをした市区町村社会福祉協議会へご報告ください。その後、全ての治療が終わったら、保険金の請求をしていただくことになります。

詳しくは、本会ホームページ
ー福祉の保険ー「事故が起きたら･･･」の項目をご覧ください。

加入手続き・お問い合わせは、お住まい又は活動場所の市区町村社会福祉協議会へ

取扱代理店	愛知福祉朝日保険サービス TEL.052-221-0294
引受保険会社	朝日火災海上保険株式会社 TEL.052-231-4461

平成26年版 「社会福祉手帳」「民生委員・児童委員手帳」ただいま申込受付中!!

県内の社会福祉施設名簿を収録!!（除：保育所）

ご購入希望の方は、送付先住所・氏名・電話番号・希望冊数を記入の上、県社協総務部までFAX・郵送でお申し込みください。本会ホームページから、申込書をダウンロードしていただくこともできます。

写真は平成25年版です。

- 価格 1冊500円
- 体裁 大きさ：縦140ミリ×横85ミリ　表紙：ビニール製
- 主な内容 2014年・2015年カレンダー、月間予定表、週間予定表（2013年12月～2015年3月まで）
  住所録、年齢早見表
  資料編（A）：関係法令、各種福祉手当・貸付制度の概要
  資料編（B）<別冊仕様>
  各種相談所、紹介所、社会福祉施設、関係団体、県・市区町村役場及び社会福祉協議会住所等一覧、健康10か条（認知症予防の10か条等）
- 送料 15冊以上は無料。ただし15冊未満は申し込み者負担。
- 支払方法 請求書を同封しますので、ATMでお振込みください。
- 申込先 県社協総務部　FAX 052−232−1191
- 納品 11月下旬

NFUライセンススクール

社会福祉士合格者数全国1位の日本福祉大学が提供

第25回社会福祉士国家試験の合格率は全国平均18.8%となり、第7回試験以降最低の合格率となりました。適切な受験対策なしに、合格への道は非常に険しい状況です。当スクールでは受験勉強の習熟度にあわせた学習ができるよう各講座を段階に分けて開講しています。

「スタートアップ講座」では、国家試験問題を振り返り内容やボリュームを体験。「ステップアップ講座」で基礎力養成、「直前ポイント講座」で習熟度確認。段階的に学習を深めるポイントを伝授して「ただの暗記」から「正答を導きだすための基礎力」を養成していきます。

社会福祉士国家試験受験対策講座

- ステップアップ講座　名古屋9月7・8日
- 直前ポイント講座　名古屋12月1日
- パーフェクト講座　名古屋12月28・29日
- NFUライセンススクールオリジナル模擬試験　名古屋10月5日
- 模擬試験（会場受験）＋ポイント解説　名古屋11月3日
- カコモン君（過去問繰り返し学習サイト）

日本福祉大学名古屋オフィス
NFUライセンススクール事務局
〒460-0012 名古屋市中区千代田5-22-35
TEL：052-242-3069 FAX：052-242-3020
E-mail：jk-apli@ml.n-fukushi.ac.jp
開館日時：月曜～金曜　10時～17時
閉館日：土・日曜、祝日

精神保健福祉士・ケアマネジャー・介護福祉士試験対策講座も開講。詳しくはNFUライセンススクール ホームページをご覧ください。
http://www.n-fukushi.ac.jp/block/course/index.html

社会福祉法人愛知県社会福祉協議会 主なお問い合わせ先
■総務部：052-232-1181
■民生児童部：052-232-1183
■福祉サービス利用支援センター：052-202-0169
■福祉生きがいセンター 長寿生きがい振興部：052-222-0700／障害者福祉・スポーツ部：052-222-6636
■地域福祉部：052-232-1182
■施設福祉部：052-232-1184
■福祉人材センター：052-231-3224

R100「あいちのふくし」は資源や環境に配慮して、再生紙100%・エコインクを使用しています。